

油圧バルブの精密技術を 新たな開発に活かす

納期
相談
企画力
自信有
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



ユニット化された油圧バルブ

業務内容 3事業を融合した提案力

「油圧バルブ製造」「省力機器設計・製作」「精密機械部品加工」を3本柱とする睦工業。特にフォークリフト等に使われる油圧バルブは、40数年の取引実績がある。

この3事業は一見バラバラだが、実は相互に関係している。それぞれの事業で培った技術を融合することで、「機器にもっと細かい動きをさせたい」「手間やコストを抑えたい」等のニーズに応える提案や開発が可能になるのだ。

強み 業界に求められていた 油圧バルブを開発

同社製品で定評なのは、電磁石による開閉弁「ソレノイドバルブ（電磁弁）」だ。高精度の部品が必要な製品だが、同社の持つ「精密機械部品加工」の技術がそれを実現している。ミクロン単位の精度管理により高性能・低故障率を維持しており、マイクログ波機器の部品受注等にもつながっている。

従来、ソレノイドバルブは海外から輸入していたが、性能不足や高価格がネックになっており、同社が生産するような「安価で高品質なバルブ」が求められていた。「あるメーカーの全フォークリフトにこのバルブが使われている他、さまざまに引き合いがあります」と吉江純社長は話す。

開発力 ユニット化、バルブの 組み合わせに取り組み

この他、同社は、今まで別々の部品で構成されていた油圧回路を一つのユ

ニットにまとめたバルブを提案・開発し、トータルコストの低減や配管作業の省力化を可能にしている。また、取引先が求める機能を実現するため、ソレノイドバルブやチェックバルブ等を組み合わせた油圧バルブも設計提案し、生産している。

さらに、35年前に開発した業界初の「電動和文タイプライター」の経験を活かし、ロボット分野にも事業範囲を広げる予定だ。



多様な生産設備が並ぶ自社工場

今後の展望 既存の技術を結集し ロボット開発に参画

同社はこのほど、大学と共同でリハビリロボットの開発部（研究用）を開発。

「和文タイプライターでは金属プレス部品、ゴム、プラスチック等の異素材を組み合わせて製品をつくる『省力機器設計・製作』を経験しました。加えて、当社には精密部品を加工する工場があるため、精度を確保しながら自社生産によるコストダウンが可能。これらがロボット開発に大いに役立ちました」と吉江真一常務取締役。今後も、高性能品をつくる生産体制と、それをベースにした強力な提案力によって、多方面からのニーズを獲得したいと意気込んでいる。

COMPANY PROFILE

睦工業株式会社

大阪
23

当社の 歴史

町の鉄工所として創業。昭和36年にフォークリフトの部品製造を開始し、以降は高性能な油圧バルブの生産や精密機械部品の加工に力を入れてきました。また、昭和51年に製造を開始したモトヤ製電動和文タイプライターは、第1回科学技術庁長官賞を獲得しています。今後は、フォークリフト分野への提案を強化しつつも、まったく新しい分野に進出していききたいですね。

特定の製品が強いのではない。工場全体として強いのです。



代表取締役社長 吉江 純さん

■主な事業内容

油圧バルブ製造、省力機器の設計・製作、精密機械部品の加工等

■主な取引先（納入先）

運搬機器メーカー、輸送機器メーカー、高周波製品メーカー等

住 所／〒581-0016
八尾市八尾木北
2-28
T E L／072-993-6035
F A X／072-922-5585
創 業／昭和20年1月
設 立／昭和29年11月
資本金／1,000万円
従業員／18名

<http://www.mtmk.co.jp>